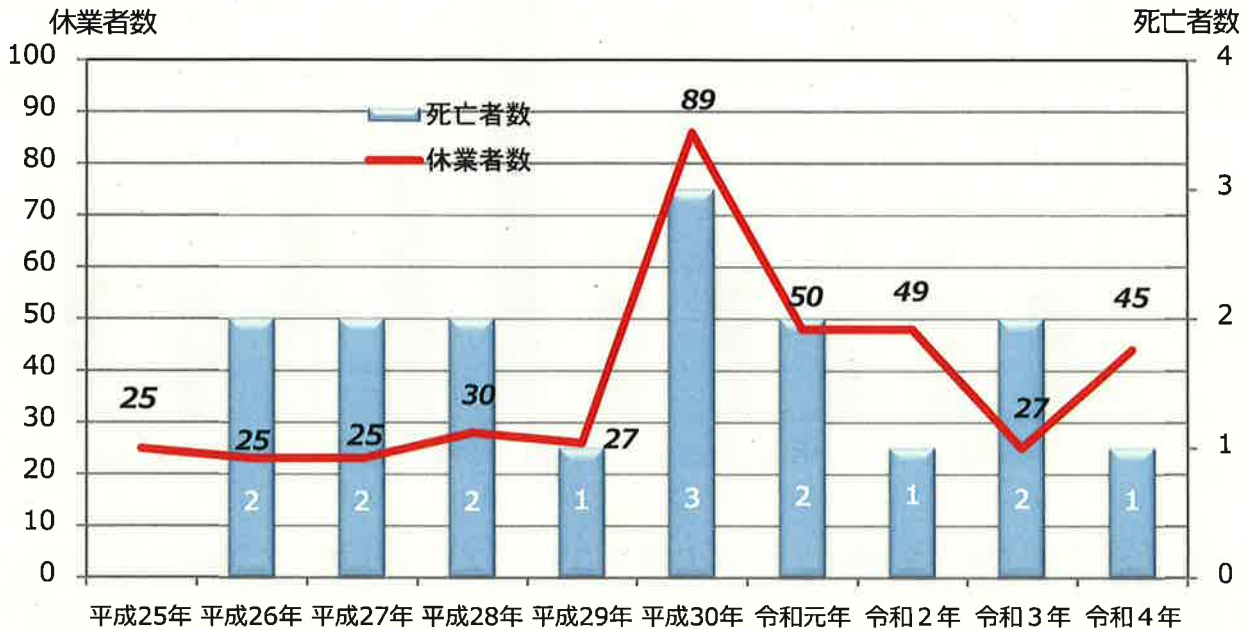
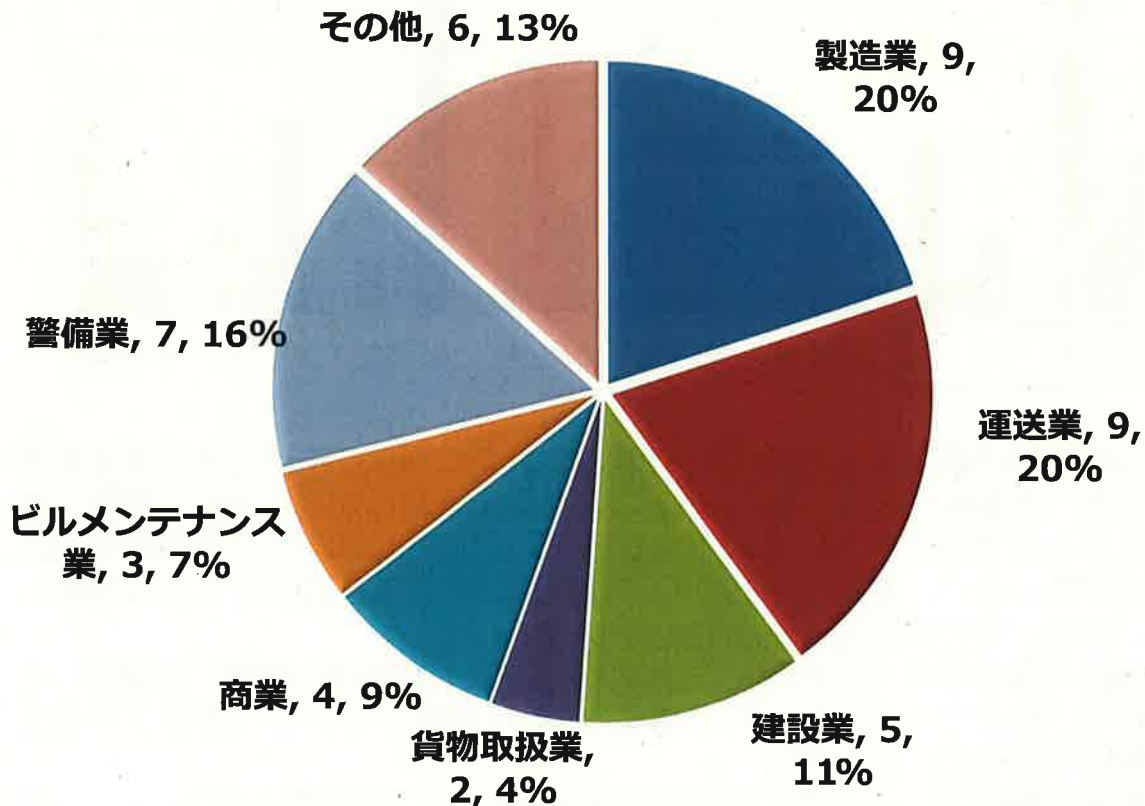


令和4年の府内の事業場における熱中症の発生状況

- ◇ 熱中症による休業4日以上死傷者数は、前年より増加し45人であった。また、死亡者数は、前年より1人減少し1人であった。



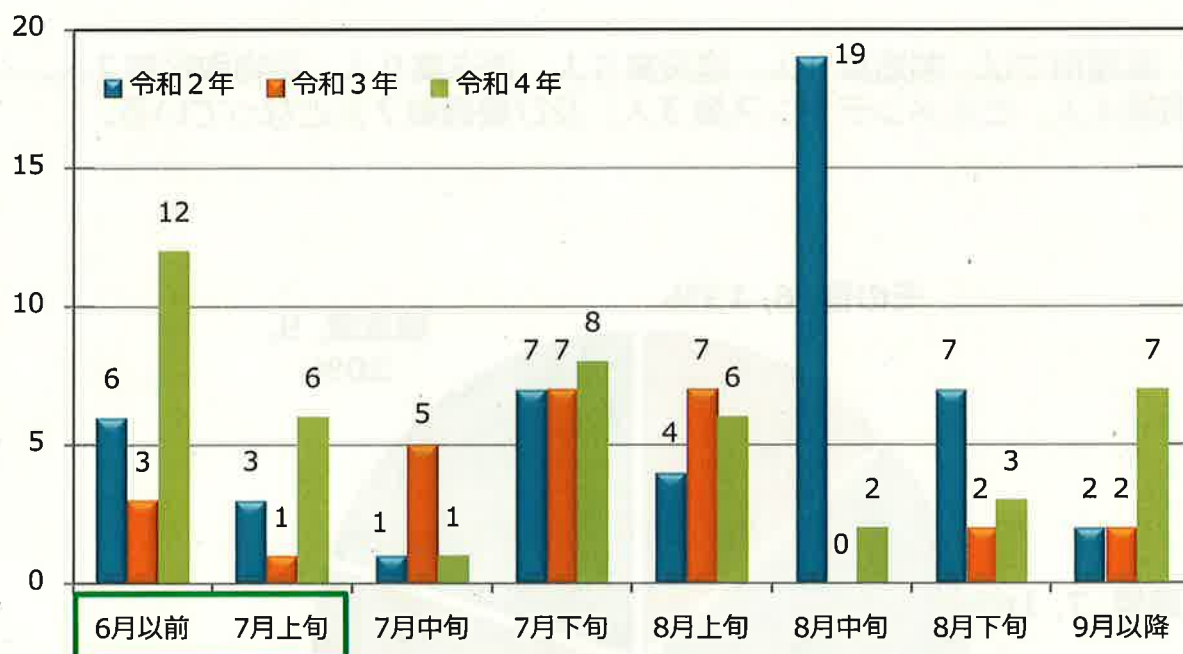
- ◇ 業種別では、製造業9人、建設業5人、運送業9人、貨物取扱業2人、商業4人、ビルメンテナンス業3人、及び警備業7人となっている。



◇ 令和4年の死傷者数で、全体の約57%が屋内作業で発生している。



◇ 令和4年の発生時期は、全体の約40%が7月上旬までに発生している。



令和4年は観測史上初めて関東地方で6月に40℃を超える気温を観測する等、全国的に6月下旬に記録的な猛暑を観測したことから、暑さへの順化が十分できていない6月下旬から、7月以前上旬にかけての熱中症の発生が多くなり、6月27日から7月2日までの6日間で10件発生した。また、死亡災害も1件発生している。

体調不良者をすぐに病院に搬送するという「緊急時の措置」が適切にとられていなかったと考えられる事案も9件発生している（資料3の発生月欄に☆印を付したもの）。

全国の熱中症による死亡を含む休業4日以上死傷者は805人、うち死亡者は28人となっている（令和4年1月13日現在速報値）。